

第 4 章 實現化方策

1. 計画の実現にあたって

本計画に掲げた将来都市像や基本目標を実現するためには、まちづくりの主体となる町民（地域コミュニティやNPO、ボランティア団体組織等）や事業者、行政等との連携・協働により、まちづくりを進めることが重要です。

そのため、町民や事業者、行政等が、目指すべきまちの将来像を共有した上で、相互の特性を活かし、補い合いながら、それぞれが担った役割を果たすことにより、計画の推進を図ります。

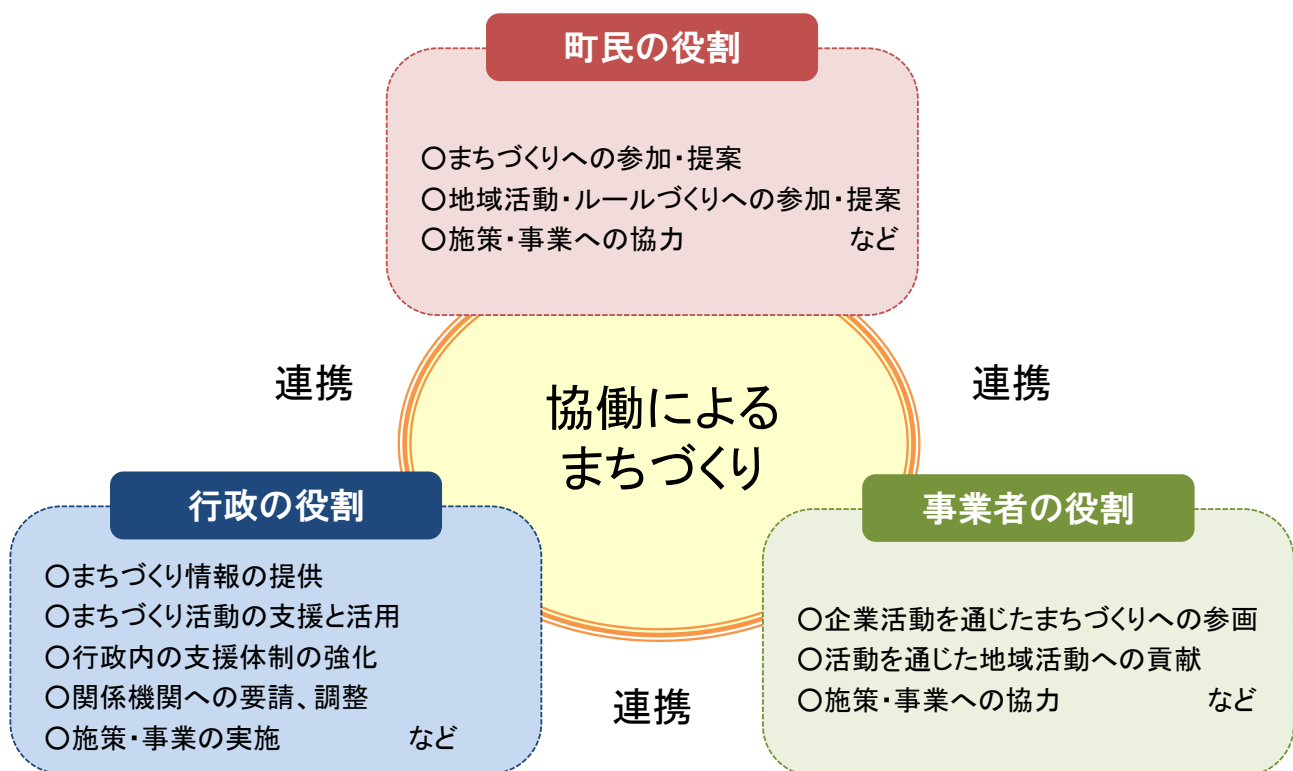


図 協働によるまちづくりにおける各主体の主な役割

2. 計画の進捗管理

本計画は、本町の都市計画行政やまちづくりの指針として定めたものであり、長期的な期間で進めていくことが必要であるため、定期的に各種施策・事業の進捗状況の評価を行いながら、計画の適正な管理を行うことが重要です。

そのため、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルを構築し、庁内関係各課等と協力して、定期的に施策・事業の進捗状況を確認します。その結果、改善が必要な施策については、対策を検討した上で、適切な方向に修正を行っていくものとします。

また、上位計画の見直しや社会情勢等に大きな変化が生じた場合は、計画の見直しを適宜検討することとします。なお、計画の見直しを行う際には、住民の声や専門的な知識等、多様な意見を取り入れる場を設置し、協議しながら進めていくこととします。

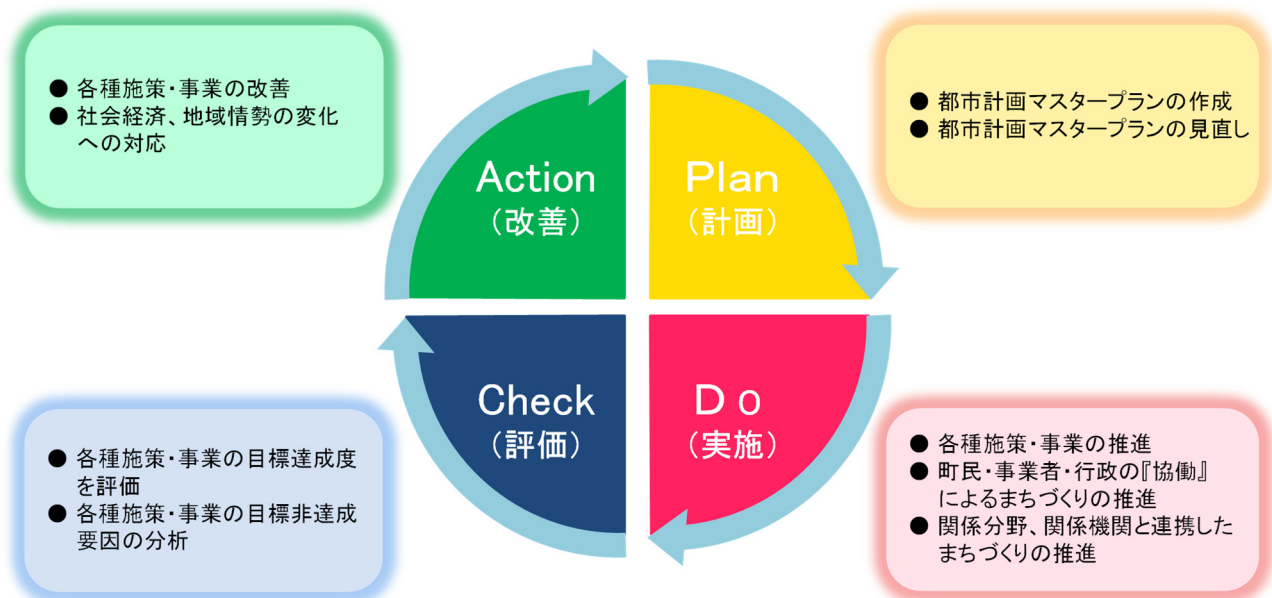


図 PDCAサイクルのイメージ